



Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	女20
----------	-----

年月日	2023 年 3 月 25 日 (土)
大会名	令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会 Presented by MIZUNO

## 公 式 記 録 用 紙

A	霧島市立国分中央高等学校						県立川和高等学校						B
都道府県		市町村		会場		回戦		7m追加 コラット		7m追加 コラット		7m追加 コラット	
岐阜県		岐阜市		岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドームコート						2回戦			
前半	A 12	B 7	最終 結果	A 25	B 16	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	A	B
7m得点/総数		A 2/2	チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 3/4	7m得点/総数			
		1 1430	2	3				1 0729	2 前 2400	3 1431			

No.	国分中央	G	W	2'	D	DR	No.	川和	G	W	2'	D	DR
2 C	福留愛音	7					1	中川琴美					
3	坂本悠莉	7					2	後藤明日香	5	1			
4	野村月乃	4					3 C	倉重綾佳	2				
5	馬場莉琉	5					4	木村日南	2				
6	内野未結	2					5	芦村美帆	2		2		
7	永井杏梨			2			6	佐々木娃寧					
16	浅谷椋月						7	比奈地悠佳			1		
							8	林真央	4			1	
							9	澤田優	1				
							10	木村晴愛					
							11	藤井結子					
							12	田貝汐莉					
							13	飛田心春					
							14	江口芽衣			1		
A	庄屋亮二						A	松久雄広					
B	南里穂						B	本田眞吾					
C	石井彩子												

A		チーム役員 A 署名	B
---	--	------------	---

特記事項

レフェリー	林 るうな	今井 啓輔		
T D	吉井 雅一	畑中 寛之		
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

試合 番号	20	女子 [ ① ]
----------	----	-------------

令和4年度 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会  
Presented by MIZUNO

試合結果・戦評報告書

競技日	3月25日 (土)	会場	岐阜メモリアルセンター ふれ愛Cコート		
種別	女子	回戦	2回戦		
Aチーム名			Bチーム名		
霧島市国分中央高等学校			県立川和高等学校		
得点合計	小計	period	小計	得点合計	
25	12	前半	7	16	
	13	後半	9		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			
戦評		記載者氏名	杉山 寛政		
<p>前半は、川和のスローオフで開始。身長差を生かしたミドルシュートとサイドシュートで攻撃する川和に対し機動力を武器にカットインやポストシュートで攻撃する国分中央がNo.2福留とNo.3坂本が2得点ずつするなど5対1とリードしたところで川和はタイムアウトを要求。タイムアウト明けの川和は7mTを獲得し、これをNo.8林が冷静に決め流れを引き寄せたかったが、互いに得点を取り合う展開となる。川和の連続速攻をGKNo.16浅谷が好セーブを見せ得点を許さない状況で国分中央は早めにタイムアウトを要求。悪い流れを断ち切った。その後はお互いに退場者を出しつつも崩れることなく進行し、12対7の国分中央リードで前半終了。</p> <p>後半、国分中央No.3坂本の得点を皮切りに3連続得点し、流れをつかんだかに見えたが、川和もNo.2後藤、No.4木村の連続得点で譲らない。中盤、川和は立て続けに失格と退場によりCPが4人となる。国分中央はこの好機から4連続得点し、11点差とする。ここで川和はタイムアウトを要求。川和はタイムアウト明けNo.2後藤のポストシュートから5連続点、GKNo.1中川も好セーブを連発し、食い下がる。しかし、逆転するまでには至らず25対16国分中央が勝利した。</p>					